

まなびの広場
稲進会
教室通信



彩色いろいろ

「本年もよろしくお願ひ致します」

明けましておめでとうございます。昨年に続き本年もよろしくお願ひ致します。

いきなりですが、ラグビーの話。

国内公式戦80連勝、全国高等学校ラグビフットボール大会3連覇(2009~2011)!という輝かしい実績を持つ『東福岡』高校という学校があります(ちなみに今年は、準決勝で敗退)。無敵を誇っていた時期、最大のライバル校は、同じ県内の『筑紫』高校。この両校の監督の指導方法は、きわめて対照的なもので、テレビなどでも取り上げられました。東福岡高校の監督は、選手の自主性を尊重し、指導は最低限にとどめ、基本的には生徒たちが計画をたて練習を行っていく。接し方もラグビーを楽しもう!という前提のものでした。一方筑紫高校の監督は、いわゆるスパルタ。体罰こそ無いものの、監督の怒号のもと練習が進められていました。上記の通り結果だけを見ると、東福岡の指導が正しいととらえがちですが、東福岡は私立高校、筑紫高校は県立高校。私立高校は、実績のある選手を集めることができます。入部時点での経験、素質と言う面では筑紫高校は劣っているといわざるをえない状況の中でした。それでも毎年の県大会の決勝戦では、僅差の試合を繰り広げていました。仮に筑紫高校が全国大会に出場したとしたら、3連覇出来たかは定かではありませんが、それに近い結果を残せたことでしょう。

正月に両校を特集した番組にあらためて触れる機会があり、教育の場に立つものとして永遠の課題となる「正しい指導法とは?」ということを考えさせられました。今は、全ての生徒に共通する有効な指導法は存在しないと思っています。私自身、二人の監督の指導のどちらにも近い形をとっていた時期があります。

「今考える最良の方法で一人ひとりと接する」

これが現時点での答えだと思っています。その最良のレベルをあげるべく、自己研鑽をし続けることが教育の場に立つ自分に永遠に課せられたものだと思っています。

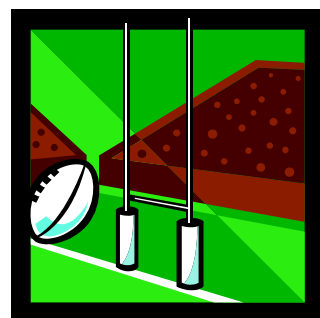
『自分が源泉』。

自己研鑽を進めていく上での根本として、今年一年左記の言葉を常に胸にとどめていきます。

この言葉は、目の前にあるすべての結果を「自分が創ったとしたら」という立場でその事実と向き合うことを意味しています。日々接しさせていただく生徒との出来事。良いと思えること、悪いと思えること、本当に様々な出来事が起こります。その全てを自分が創りだしたとして向き合っていこうと思います。

(『自分が源泉』 著者 鈴木博氏 創元社)

教室責任者 奥松



教室の風景

あけましておめでとうございます！

昨年一年は文字通り毎日があっという間に過ぎて行きました。日々充実感いっぱいの中過ごすことができました。教室で起こる出来事はどれも素晴らしいものばかりでした。中でも特に印象的なのは、年少さん達の目覚ましい成長です。レッスンでは、お友達との間できちんと自分の思いを伝える事ができるようになったり、作品にもこだわりを持てるようになりました。今までは途中でイヤになり「もうこれでいい!」と言っていた子が、最後まで、自分の思いを形にするまで諦めず頑張っている姿など数多くの成長を目の当たりにすることが出来ました。

教室の指導方針である、『自ら考え行動できる人』になって欲しいという願いのもと、子供達をどのようにサポートしていくか私達インストラクターも日々勉強しています。

私の今年の抱負は、全力で充実した日々を送る事です。
妥協なしで何事も全力でぶつかって頑張っていきたいと思います。
どうぞ今年一年も宜しくお願ひいたします😊

インストラクター 山本英美

今月の作品介绍

今回は“お正月” にちなんだもの特集！



『神社』

鳥居とその奥に神社があります。
おみくじもひけますよ！



『鏡もち』

お正月の雰囲気良く出ています。美味しそうなお餅がのっています。



『おせち』

えび、だてまき、黒豆、数の子、かまぼこなど、豪華なおせち料理が出来ました。

ジュニアクラス作品発表会（1月12日実施）より



エレベーターが地上から最上階までスムーズに上がるためのたくさんの工夫が入っています。



木の雰囲気いっぱいのビルです。一つのモーターで複数箇所が動く仕組みが取り入れられています。